

生きる憲法

東京の九条の会をつなぐ

九条の会 東京連絡会



憲法九条の先駆者・新島襄

身にまとうべき時にあらねば

橋本
左内

私は今、胸を躍らせながら一冊の伝記を書いています。題名は、『新島襄と憲法九条の先駆者』です。彼が、同志社大学の創立者であることは知つても、憲法九条に関係があるという説は初めてでしよう。新島襄は坂本龍馬の八歳年少ですが、それぞれアメリカとオランダの黒船を見て、①海軍の創設と、②貿易術の習得を使命と痛感します。そして、龍馬はその道を轟進し、途上で暗殺されましたが、同僚たちに

よつて夢は実現されて、明治維新と天皇制軍国主義国家という二一世紀まで累をおぼす結果になりました。新島襄の場合は、黒船の他に、もう二つのファクターが介在しました。新島は、上州安中藩の祐筆職でしたが、封建的な身分制度の桎梏からの解放を求め悩んでいたある邦史略で「アメリカ独立宣言」に出逢つて靈感を受けます。「わが国の支配者は、合衆国の大統領のようであらねばならない。日本の支配者よ！なぜ貴方は我々を犬か豚のように扱うのか。・・なぜ幕府は我々を自由にしないのか。否！我々はそのような野蛮な幕府を倒さねばならない」と革命権限を今まで及んでいます。さらに、禁書であった『聖書』も読んで、親や藩主や幕府より優先して従うべき神を発見して精神革命を遂げたのです。この革命を実現しているアメリカへ行つて学び・身につけて日本を変えたいという使命感から、國禁を犯して函館から脱出し、九年の学び（その間に、岩倉遣外使節団の独立通訳を担当）の後に帰国して同志社（大学）を創設したのです。脱出の時、決意を家族に短歌で示しました。

「もののふの思い立田の山もみじにしき着ずしてなど帰るべき」。

そして、「にしき＝軍国」ではなくキリスト教を基本にした教育立国に回心し、帰郷して示した短歌は、「ふるさとに飾るしきは箱の中身にまとうべき時にあらねば」でした。鎖国のがくでも人権を得し、強兵富国政策の時代に非暴力平和を実行した新島こそ、内容的に「九条の先駆者」であつたことを国民と共有したいのです。

発行 九条の会東京連絡会 〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-3-3太陽ビル503 TEL 03-3239-6716

FAX 03-3239-6717 ホームページ www.9-jo-tokyo.jp メールアドレス mail@9-jo-tokyo.jp

ニュースのタイトル「生きいき憲法」は日野原重明さん（聖路加国際病院理事長）の命名・揮毫によるものです。

東京・9条まつり

11月13日(土)
大田区産業プラザ

あと3ヶ月月を企画
多彩・多様な企画
続々決まる

「東京・9条まつり」が3カ月後に迫りました。毎月の実行委員会を重ねながら、賛同者の参加も次々と決まり、多彩で多様な企画がすすんでいます。

11月13日(土)午前11時、大田産業プラザの1階大展示ホールの仮設舞台。和光学園九条の会の勇壮な沖縄エイサーでオープニングです。ジェームス三木さん(脚本家)があいさつ。11時30分から、大展示ホールで各九条の会が趣向を凝らしたブースの展示や出店など。各会場では、講演、シンポ、展示、音楽、映画、落語などなど、午後8時まで催されます。

日野原重明さん(聖路加国際病院理事長)、杉原泰雄さん(一橋大学名誉教授)、山内敏弘さん(同)、湯川れい子さん(音楽評論家)、蓮池透さん(前・北朝鮮による拉致)被害者家族連絡会事務局長)、三上智恵さん(琉球放送ニュースキャスター)、小森陽一さん(九条の会事務局長)、高橋哲哉さん(東大教授)、伊勢崎賢治さん(東京外国语大学教授)、雨宮処凜さん(作家)、内藤功さん(弁護士)、橋本左内さん(牧師、日本宗教者平和協議会理事長)などが、憲法、安保、沖縄、基地、貧困・格差などをテーマに講演、トーク、パネラー、あいさつなど多様な形で参加します。

崔善愛さん(ピアノ)と三宅進さん(チェロ)のコンサート、佐藤真子さんのピアノ弾き語り、山崎せつ子さんの朗読、九条寄席では桂南なんさん・橋家扇三さん・寝床家道楽さんらの落語、東京の子どもたちのコーラス『ぞう列車がやってくる』、沖縄の唄と三線、うたごえ九条の会や9条のうた合唱団、大西進



さんとコールラベンダーが「金子みすずを歌う」、国民学校一年生の会や自由の森学園が「模擬授業」、「民話の会」、首都圏青年ユニオンなどの青年企画、「五日市憲法」、「満蒙開拓団」、「旧陸軍登戸研究所」、DVD上映は「加藤周一 幽霊と語る」「ハーツ アンド マインズ」など。

「東京・9条まつり」成功めざし「成功協力券」の普及を!

「東京・9条まつり」実行委員会では、3カ月後に迫った

「まつり」の成功をめざして、「成功協力券」の普及をはじめました。この「成功協力券」は一枚1000円の募金です。

また、「まつり」会場に一枚で一人が入場できます。九条をまもり活かそうという人たち、一人でも多くの人に「東京・9条まつり」の「成功協力券」を普及しましょう。九条の会東京連絡会は、会報『生きいき憲法』を送っている各九条の会に、この「成功協力券」を各10枚送って、協力をよびかけています。なお、「成功協力券」をご希望の方は、事務局までご連絡ください。

学習会「憲法9条と日米安保」

小沢隆一教授



6月14日午後6時30分から豊島区民センターにおいて開かれた第7回実行委員会の第一部で、小沢隆一教授（東京慈恵会医科大学・九条の会事務局員）による標記の学習会が行われました。安保改定50年を迎える普天間問題で鳩山首相が失脚した直後の選挙戦の最中に相応しいテーマのお話の要旨は次のとおりです。

■はじめに

「安保条約に手をつけずにアメリカに基地撤去、国外移設といつても無理です。私は、新しい政権には、日米安保を再考する、勇気ある決断を期待したい」（宮城篤実・嘉手納町長）。まさに、普天間基地問題の大元には安保条約があり、安保を直視せざるを得ない状況を迎えている。憲法と安保の相克の歴史、現状をとらえ、その上で未来を展望することが大事だと思う。

■日米安保の原点

9条は、戦争の結果、アジア

の平和を保障するため誕生した。日本を再び侵略国にしないための保障が9条であり、日本国民はその9条を支持した。しかし、苦難から生まれた9条を破壊し始めたのが朝鮮戦争（1950年～53年）。①米軍を日本本土に置く必要はない、

沖縄だけで十分、日本は中立国であるべきだから安保条約は不要（マッカーサー）、②駐留継続の保障なき早期講和は反対（米軍部）、③平和・全面講和を求める（国内世論）、④占領終結の願い（沖縄県民）。このいろいろな思いを押しのけて勃発した朝鮮戦争が、サンフランシスコ講和条約+安保条約（51年）を生み出した。吉田首相がこっそりと1人で調印したのが安保条約。

その朝鮮戦争は、アメリカから武器を供与されていなかった南朝鮮は北朝鮮に一気に攻められ、米軍が上陸して中国国境まで反撃して平壌空爆、中国義勇軍が38度線まで押し返した、その内で1000万人もの離散家族が発生。この厳しい戦争の結果、南北朝鮮の国民の中には

「絶対に繰り返してはいけない」が受け継がれている。しかし、朝鮮戦争で「特需」を受け、後方基地としての自覚を欠如させるなど「絶対に繰り返してはいけない」をどこまで理解しているか疑問なのが日本。したがって、騙し合い、裏切り合い、憎み合って戦った国々が交渉のテー

ブルにつく六ヶ国協議と日朝国交正常化交渉を再開させ、朝鮮戦争を休戦から終戦させることの意義は絶大なものがある。

■日米安保のその後の展開

1950年代に9条改憲の危機を迎えたが、改憲反対および沖縄・本土での基地反対を展開して危機を乗り越えた。この運動は核兵器禁止、安保反対へつながり、この力が、60年の改定安保を、共同防衛（5条）は日本国内に限定、核兵器持ち込みは「密約」の形でしか取り交わすことができない「いびつな軍事同盟」とした。

しかし、70年代に入り、ベトナム戦争終結と同盟国への軍事分担要求拡大戦略から、日米安保は、条約の枠を超えて、本格的な軍事同盟として追求されてきた。78年の「日米防衛協力の指針」と「思いやり予算」、それ以降の1000海里シーレーン防衛、「日本以外の極東における事態」での日米共同作戦、90年代に入ると湾岸戦争での自衛隊海外派兵要求増大、日本が米軍を後方支援する「新ガイドライン」とこれを受けた周辺事態法制定、21世紀に入り有事立法、テロ特措法、イラク特措法と続いた。これらは海外での日米共同作戦態勢の構築を目指したもので、そこから50年代の明文改憲策動が「復活」し、集団的自衛権の行使を焦点としている。

■「九条の会の6年間」の意義

明文改憲の動きが強まる中、2004年に九条の会のアピールが発表され、9条をまもる運動が全国規模で展開してきた。

特徴は、この運動を通して国

民の政治意識が高くなってきたこと。96年に小選挙区並立制の下で初めての選挙が行われたが、その時の投票率は20歳代から70歳以上のあらゆる年齢層を通じて投票率は過去最低。投票したい候補者がいない、がその理由。その後も低い投票率が続いたが05年総選挙で投票率が回復し、09年総選挙でさらに向上した。これは政治に関心を寄せる人々が増大したことを見ている。また、NHKが5年ごとに実施している「日本人の意識」調査によると、選挙並びにデモや請願行動が国の政治に影響を及ぼしていると考える人は03年まで減少傾向が続いたが、08年は過去35年間で初めて増えた。政党の支持なし層も過去35年間で初めて減少し、08年は03年と比較して11ポイントも減少した。こうして、国民の政治意識が高くなってきたことが各種調査の結果

果として出ている。

■ 9条を軸に軍事同盟のない世界へ

小沢教授は続けて、07年5月に成立した改憲手続法が5月18日に施行されたが、この3年間明文改憲の動きを押しとどめてきたこと、しかし今後、憲法審査会始動の策動、参院選後の改憲手続法「執行」のための法整備、継続審議となった9糾改憲を容易にする内閣法制局長官の国会出席禁止の国会法「改正」案、に厳重な注意を要することを指摘された後、最後に、9条を堅持することこそ未来が開かれるとして、「9条と安保」の問題を九条の会として検討して欲しいと訴えられた。

アフガン・イラクにみるよう アメリカの軍事戦略は破綻、 インド洋とイラクに出動した自衛隊の「戦闘参加」を9条が阻

止、名古屋高裁が平和的生存権の意義を強調してイラクでの自衛隊の活動を違憲と判断、核兵器をめぐる新たな変化、各国で米軍基地は撤去され軍事同盟体制は時代遅れ、改憲と構造改革路線に対して始まった国民の反撃。以上にみる情勢の変化は、軍事同盟のない世界を展望し、9条（平和的生存権）と25条（生存権）を車の両輪とし、憲法を生かす政治の実現を求める時を迎えた、と。

普天間問題の背景に9条と安保の衝突があり、安保が9条改憲の震源地であることを歴史的・論理的に解明された貴重な講演でした。秋の『東京・9条まつり』で再度、「安保と憲法の相克の歴史、現状をとらえ、その上で未来への展望」を大勢の参加者で確認したいと思います。

(島田修一 記)

東京・9条まつり プレ企画 五日市憲法草案 再発見ツアー あきる野9条の会が企画

「東京・9条まつり」に参加するあきる野9条の会は、「東京・9条まつり」を成功させるため、「五日市憲法草案を東京の宝に」の会と協力して、9月19日（日）にプレ企画「東京の宝 五日市憲法草案再発見ツアー」をおこないます。

【予定コース】

このツアーは、午前10時、JR武蔵五日市駅前に集合し、地元の研究者である鈴木富雄さんの解説を聞きながら、草案資料が展示してある五日市郷土館、青年が学んだ開光院、草案の碑写真、卓三郎が教師をした勧能学校跡、市神様、内山安兵衛墓地を見学。昼食後、草案が眠っていた深沢家跡を見て秋川渓谷・瀬音の湯について温泉で体を休めようという日程です。

午前中は、全行程約3キロを徒歩でまわりま

すが、午後は車かマイクロバスでまわることになっています。

【費用】

費用は、資料代とマイクロバス又は車代約2800円、他に温泉入浴料800円、そして食事代が必要です。

【募集人員】

募集人員は25人です。

【お問い合わせと申込先】

あきる野9条の会事務局の前田さんまで（電話・FAX 042-558-7857）
希望者はお早めにお申し込みを！

井上ひさしさんの志を受け継ぐ 九条の会講演会に参加して

橋本 良子（練馬区）



日比谷公会堂に近づくと警官が多く、政権への異議申し立ての集いに参加する緊張を覚えた。参加券完売で会場は満席であった。まず、DVDでスクリーンから井上さんが語る。

「第一次大戦で死亡した人の95%が軍人で、一般市民は5%。第二次大戦では軍人52%、一般市民48%。朝鮮戦争では軍人16%、市民84%。ベトナム戦争では軍人5%、市民95%。イラク戦争は米軍人4千人、イラク市民15万人だった。戦争が始まると賛成しようが反対しようが巻き込まれてしまう。いいことがあるのは戦争で儲ける一握りの人だけである。その人たちの言葉を真に受けて死ぬことはない」「1899年第1回ハーグの世界平和会議では、紛争を平和的に解決することは決められなかった。1907年の第2回の会議では、国が中立宣言をすることが権利として確認された。1999年の第3回会議では『世界各国の議会に日本国憲法第9条に基づいて戦争禁止を決議させよう』と決めた」「“あたらしい憲法のはなし”を書いた文部省の本田さんが、米ソが対立す

るなかで日本国憲法の精神で原案を書き参加国の賛同を得て南極条約をつくった。南極は①どこの国のものでもない、②軍事基地を作ってはいけない、③科学研究のみ行う、と。この条約をモデルにして南太平洋、ラテンアメリカ、アフリカで非核化条約が出来、日本国憲法は地球規模で広がり始めている」と、スクリーンいっぱいに井上さんの笑顔。惜しい人を失ったと痛恨の思いが胸を衝いた。

大江健三郎さんは「日本は中国や北朝鮮の核武装に不安を持つが、日本自身がアメリカの核の傘の下に

あることをどう考えていくのか。沖縄にある米軍の核兵器に最も敏感なのは中国、台湾、北朝鮮、韓国であることを考えなければならない」と話す。

奥平康弘さんは「憲法研究者



としては、自衛隊は憲法違反であり、9条2項を文字通り実行せよ、が出発点になる。市民運動が強ければ司法も動かし、2008年の名古屋高裁のイラク派兵は武力行使であり違憲という判断も出た。憲法改正手続法は2010年5月18日が施行期日であつ

たが、メディアも報道せず、実行はできなかった。今、憲法改正は足踏みを余儀なくされている」と話す。

佐藤修一さんが、『吉里吉里



人』の一節』を山形弁で朗読。易しい言葉で本質を衝く言葉の力が聴衆の心に深く波紋を広げていった。

最後に澤地久枝さん。「アメ



リカは軍事費世界最高の軍事大国、オバマはアフガニスタンにも派兵した。中村哲さんはアフガニスタンの砂漠で井戸を掘り水路を作り、麦やスイカがとれ、人びとは自立し平和に暮らせるようになった。安保という軍事条約ではこういう平和は無い。井上さんはひとの何倍もの勉強をして書いていたが、経済的には恵まれなかつたのでは？ 志を受け継いで、九条の会の七千余のもぐらは叩かれても連携して平和を求めていきましょう」と呼びかけた。

職場から



「私学九条の会・東京」の活動

事務局 内藤利治

200

6年1月26日、160名の参加で「私学九条の会・東京」が発足しました。当日は九条の会事務局の小森陽一さんの講演で、終わってからの交流会も含め大盛況でした。この結成までは、これまでの私学労働運動の单なる焼き直しではなく、幅広い新たな組織を作るため、1年間以上の準備会を重ね、次のような取り組みを行ってきました。第一に、私立高校以下の全都の教職員、父母、生徒、学園経営者を対象に「九条の会」アピールの賛同を組織する。第二に、結成総会をめざしながら、当面、憲法・教育基本法の学習会などを企画準備する。第三に、職場「九条の会」づくりの促進・交流とニュースの発行をすすめる。

賛同者づくりは、当面、東京私教連、私学退職教職員の会、私学父母懇などの構成員を中心に進すすめ、さらに、結成総会に向けては、全都の私立中高校長・理事長、幼稚園園長、私教連未加盟の組合も含めた委員長宛に、計1343通の賛同呼びかけと結成案内を発送しました。結成総会の呼びかけ人は、和光学園顧問の丸木政臣さんを初め幼小中高の校長・理事長6名と私教連委員長、退職教、父母懇会長の計9名の呼びかけで行われました。事務局も和光学園中高に置き専用の電話も引きました。学習会もすべて私学の教員（元）が講師になっての結成まで5回学習しながら準備の論議を進めました。

結成後は、年4回ぐらいの学習会が主な活動となっていますが、近年では、2、3月の結成記念集会（総会・講演）、5月

のフィールドワーク、9月の学習会、11月の「私学のつどい」の平和企画への合流が定着してきています。憲法・平和フィールドワークは「横須賀軍港めぐり」（08年）、「五日市憲法と周辺の史跡をたずねて」（09年）、「三鷹・調布の戦跡と深大寺をたずねて」（10年）と3回行つてきましたが、現地の方の案内で、私たちの身近なところから改めて歴史認識を具体的に深められることで、大変好評です。

運営の主体は、年8回ぐらい開かれる事務局会議（拡大）で、その時点での情勢討議や企画について論議を深めます。事務局は、現役・退職教職員、父母によって構成されていますが、職場の九条の会からもできるだけ参加してもらっています。会の財政は一口1000円の賛同費をできるだけ年ごとに納めて頂き、それで賄っています。通信は通算21号、約450部発行しています。現役の労働組合の時は、当面の課題に追われ、なかなか政治的課題について日常的に追求することが困難でしたが、この九条の会が継続的にもたれることにより、職場にもさまざまな形で影響を与えていきます。継続していく力には退職教職員の果たす役割は大きなものがあります。

3月に行われた4周年記念集会では、再び小森陽一さんを講



師に招いて「政権交代の中での『憲法9条、25条』を問う」と題する講演と大東学園九条の会のミニコンサート、NPTニューヨーク派遣の私学教職員、高校生の訴えとカンパに取り組みました。

7月の参議院選挙の結果によると、自民とみんなの党の議席が伸びたことから、「改憲をすすめるべきだと思う」60%、「9条改正賛成」48%、「反対」42%と改憲派が多数を占めるようになっています（7/13毎日新聞）。こうした新たな国会情勢のもとで、九条の会の継続的な活動がますます重要になってきています。東京の私学関係者過半数の賛同が得られるよう、さらに工夫と努力を重ねていきたいと思っています。

企画のタイムテーブル・組織・財政問題など検討 「東京9条まつり」第7回実行委員会：6月17日



去る6月17日（月）18：
30～20：30、豊島区民センターにて、第7回実行委員会を開きました。参加者は36人でした。

最初に小沢隆一さんによる講演「憲法9条と日米安保」が行われ、それが終わった後、事務局からの「東京9条まつり」の準備状況について以下のような報告がされました。

1. 企画のタイムテーブルについて

現在準備が進められている企画の時間割について、前回の実行委員会から新しく変わった部分を中心に説明がありました。具体的には、合唱組曲「ぞうれっしゃ がやってくる」は全11曲45分を歌う。杉並、練馬では練習の日程が決まりつつある。共同映画の企画、ピアノ演奏が追加された。落語も真打ちの上演が進められている。メイン企画では畠田重夫さんにも登場してもらえるかも知れない。「坂の上の雲」をテーマにした企画も準備中。青年企画も準備が進んでいる。

2. 実行委員会の組織図

東京9条まつり実行委員会の組織図が示された（下記参照）。現在、事務局員として17人ぐらいが関わっているが、これが30人ぐらいになり、さらにその下で100人ぐらいのボランティアが手伝ってくれるぐらいにならないと成功しない。九条の会に関わっている人なら誰でも事務局員になれる。ただお客様さんとして参加するより、自分の手で作り上げる方が絶対に楽しい。ぜひ積極的に拡大事務局員に立候補してほしい、との訴えがありました。



3. ブース出店

現在36団体39ブースの申し込みがある。最大70ブースまで入れるつもりなので、8月

末締切りをめどに第2次募集をすることにした。これまでの申し込みでは飲食の出店ではお茶・甘味・お菓子類が多い。もっとお腹にたまるもの（おにぎり、パン、やきそばなど）の出店を期待したい。ミニ舞台の出演申し込みももっと欲しいところ。

4. 組織財政

500万円ぐらいの出費を見込んでいる。これを賄うのは1枚1000円の「成功協力券」。これは1枚で1人入場できるが、入場券ではなく、むしろカンパ1口という位置づけ。入場しない人も成功に協力する意味で1口、2口と買ってもらう。これを7000枚印刷して、500枚売りきりたい。

以上の報告を受けて自由に質疑応答・討論を行いました。出された意見は以下のようなものがありました（→は質問に対する回答です）。

*自主企画を現在練っているところだけど、まだ追加の余地はありますか？

→自主企画については公募という形では締めきったけれど、まだしばらくは調整期間ですので追加申し込みも受け付けています。検討中のところはぜひ積極的に持ってきてください。

*ブースはあとどれぐらい追加募集するつもりなのか？そのやり方は？

→70までは大丈夫だけど、必ずしも70埋めなければ困るわけではない。40～50でもそれなりに形にはなる。追加募集の案内を出すつもりです。

*展示スペースを作って、類似

の展示物については集中させた方がいいと思うが、どうか？
→自主企画にも展示企画がいくつかあるが、どんな内容のものが、どれくらいあるかを聞いてみないとどれぐらいのスペースが必要かわからない。しかし、見て回る側の利便も考えて、見やすいように配置したいとは考えている。申し込んだ会と相談しながら決めたい。

*国分寺に野菜を出したいと申し出ている人がいる。具体的に話をしたいので事務局からも相談に来てほしい。

→ぜひ実現させたい。相談して進めましょう。

*五日市憲法の自主企画を3地域共同で考えている。またバスも3地域でまとめて3バス欲しい。→了解です。

*占い師を呼ばうと思っている。
→ぜひ。

*合唱「ぞうれっしや」の合同練習はやるのか？それにはどう参加したらいいのか？

→杉並と練馬を中心に合同練習の準備が始まっている。事務局に連絡してくれれば取り次ぎます。

*飲食の出店だが、もし2次募集でも足りなければ、業者に依頼した方がいい。

→その場合には地元（大田区）の業者に頼みたいと考えている。

*組織図のイメージがわからず、どこに参加したらいいかわからないのだが。

→では、とりあえず事務局会議に顔を出してください。議論を聞いている内にどこに関わりたいか見えてくると思います。

*遠方からはバスなどで来るとなると思うが、駐車場はあるのか？

→駐車場の申し込みは「自主企画申請書」の中になります。必要性が見えてきたら、それを書いて出してください。バスは高

速のサービスエリアなどに待たせる手もある。

*オープニングはバーン！とした企画を打とう。

*五日市憲法ゆかりの地をめぐるツアーを9月19日にやるので、ぜひ皆さん参加してほしい！

「成功協力券」は 「募金しました」の証 「東京9条まつり」第8回実行委員会（7月12日）



去る7月12日（月）18：30～20：30、豊島区民センターにおいて第8回実行委員会が開かれました。参加者45人です。その様子をお伝えします。

最初に、映画『1960年6月 安保への怒り』の上映があり、解説を下町天狗講九条の会の山口義夫さんがしてくれました。

続いて、事務局から「東京9条まつり」の準備状況についての報告がありました。

1. 企画の準備状況について

*事務局の中でそれぞれの企画ごとに担当者を配置しました。

*オープニングセレモニー（開会式）のスペシャルゲストはまだ決まりません。様々交渉中。

*小森さんのビッグ対談も対談相手がまだ決まりません。場合によっては対談ではなく講演になるかも知れない。その場合は、小森さんの専門でありながら、九条の会ではあまり聞いたことがない「夏目漱石論」なども良いかも知れない。

*高橋哲哉さんの企画を小森さんの企画とひとグループにする（同じ会場にして、時間帯をずらす）。

*大展示ホールのミニ舞台では「九条演芸ホール」で様々なパフォーマンスを見てもらう。今、政治コントの申し込みがある。

*AB会議室では反基地闘争をテーマに、運動の紹介、講演、映画上映などを準備している。

*コンベンションホールでは、ピアノコンサート、合唱組曲「ぞうれっしやがやってくる」、伊勢崎賢司さん率いるジャズバンドなど音楽の催しを準備中。

*会議室Cでは若者をテーマに、青年労働者（首都圏青年ユニオンなど）、学生（ピースナイト9、雨宮処凜など）、高校生など、いろいろな階層をカバーするように各所と話を進めていく。

*会議室D～Gでは、五日市憲法などの地元紹介企画、国民学校の模擬授業、朗読、落語などを準備中している。

2. 財政・組織について

*全体で600万円の予算規模を考えている。それを「成功協力券」（1枚で募金1口1000円）の普及で賄う。700

0枚印刷して5000口の募金を目指す。

*東京にある900の九条の会のすみずみにまで「まつり」の存在と「成功協力券」を普及することと併せて、いくつか九条の会運動に協力的な団体に協賛をお願いしたいと考えている。

*以上が基本方針だが、それをどう進めていくかの詳細については次回の実行委員会で提案したい。

以上の報告を受けて、自由に質疑応答・討論を行った。

*会議室Dの五日市憲法企画を主催しているあきる野と東大和の会ですが、プレ企画として現地ツアーを9/19に行います。ぜひみなさんもお出で下さい。

*「成功協力券」についてだが、これは入場券ではないはず。ナンバリングなど金券であるかのような印象を与えると、取り組む側が重くなるからやめた方がいい。ナンバーを振らず、どんどん配ったらいいと思う。現場ではカンパ箱をおいてカンパを

集めればいい。また団体まわりして協賛を取り組むのが良いと思う。

*11/13当日はお隣の横浜でAPECの会議があつて警備が強化される。また当日、大田区では大田フェスタが催され、区職員などの人はそちらに動員されるので、大田区では要員が出しにくい状況にあることを踏まえておいて欲しい。あとゴミは必ず持ち帰ることを徹底しておいて欲しい。

*「成功協力券」は入場券ではないということだが「協力券」を持ってない人が来ても入場を認めるのか?

*いったん入場の手続きをした人にはワッペンをつけてもらうなどの工夫がないと、出入りで混乱するのではないか。

*九条を「守る」だけでなく「知る・学ぶ」もこの「まつり」の趣旨だったと思うが、「成功協力券」の封筒に書かれている協力依頼文はそのあたりが抜けて、狭くなっている。書き直した方がいい。

*「成功協力券」は「募金しました」という証として入場の際

に見せてもらうことになる。また募金への領収書代わりでもあり、どれだけの人が募金してくれたのかを管理するためにもナンバリングが必要となる。

*「成功協力券」の扱いは、当初の方針通りで進めましょう。今から転換すると混乱するばかり。

*「成功協力券」はいろいろな会にとりあえず引き取ってもらって、売れ残った分については返却してもらえばいい。買取制ではないので、決して重く受け止める必要はない。むしろそのためにもナンバリングが必要。

*それでいいと思うが、やはり、当日「成功協力券」を持ってこなかつた人はそう対応するのか、それははっきりさせておいた方がいいと思う。

*ある段階に来たら、早めに記者会見したり、プレスリリースしたりして、少しでも早く東京にある900の九条の会にひとつ残らず周知し、協力を呼びかけることが大事だと思う。

(平野 健 記)

掲示板

- 女性「九条の会」五周年のつどい
10月7日(木)午後1時30分
銀座プロッサム(中央会館)
前売券1000円、当日券1300円
平和一音楽にできることはなにか
お話をピアノ
池辺晋一郎さん(作曲家)
オープニング
江戸伝統芸「かつぽれ」
櫻川梅寿社中
合唱 女性コーラス

「エーデルワイス」
呼びかけ人の一言
江尻美穂子さんほか
司会 根岸季衣さん(俳優)

- 世田谷・九条の会
5周年記念 講演と
音楽のつどい
10月8日(金)午後6時30分
成城ホール
会費 999円
(中高生500円)
講演:「世界から見た憲法九条」
伊藤千尋さん(ジャーナリスト、朝日新聞記者)
音楽:独唱(メゾソプラノ)
からたちの花、鳥の歌ほか
陳 曜(チェン・シ)さん

●大田9条の会・憲法9条をまもる大田女性の会 宣伝行動

日時 8月15日(日)

15時~16時30分

場所 蒲田駅西口

●憲法「九条の会」調布のひろば8月(第55回)例会

日時 8月29日(日)

<テーマ1>安保50年にあたって
憲法9条を考える

14時~

<テーマ2>調布「憲法ひろば」の
これからを考える

18時30分~

場所 あくろすホール
(京王線国領駅北口)

紹介

小学生が作った 一冊本 「日本国憲法第9条」

中野の「共立友の会九条の和」の榎本博さんから事務局宛に「友人の娘さんの冊子です」の添書きで、女の子が躍動している鮮やかな表紙絵に「日本国憲法第9条」と題した本が送られてきました。右の方に著者名が「和光鶴川小学校 6年2組 山脇志貴」とあります。「小学校6年生が書いた本？」と興味をそそられて本を開いた。ページをめくっていくにつれて、驚きと感嘆が禁じ得なくなったのでした。

3年前の小学校6年のときの自由研究レポートを一冊本にまとめたものを複製して、当時の担任のまえがきを載せ、新たな表紙を装丁して、今年7月に刊行したものです。3枚目にそのレポートの手書きの表紙（これがまた楽しい）があり、その後のページに目次が出ています。まず、それを全部紹介してみましょう。

○自己紹介。○はじめに（※ここになぜこのテーマにしたかが書いてある。後述）。1、憲法とは何か、憲法9条とは何か。2、前の（昔の）憲法と何がちがうのか。3、憲法が誕生した時代又は誰が作ったのか～憲法研究会、その時の政府、GHQ。4、金子勝先生にインタビュー。5、憲法が出てから日本又は日本の動き。6、アンケート結果～そこでわかったこと～私のクラス（6-2）にも質問してみました。アンケートで出された意見。7、各政党のアンケート結果、・各政党の考え方。8、憲法が改訂されてしまったら、

日本はどうなってしまうのか？ 9、軍隊をもたない国コスタリカ・池田弁護士にインタビュー。10、京都の立命館大学に見学。11、立命館大学の安斎育郎先生に書面インタビュー。12、日本は戦争に関わっている！ 13、9条を守る会などは日本にどれくらい

存在しているのか。14、三木睦子さんにインタビュー。15、鶴小9条の会の代表者 北山先生にインタビュー。16、本間美智子さんにインタビュー。17、平和、そして私達はどうすればいいのか。18、9条グッズ。19、私の一冊本に深く関わってくれた人のメッセージ。20、鶴小の先生たちのメッセージ。○おわりに。○使った本。資料など。

(B5版・110ページ)

志貴さんは資料など以外はすべて手書き。自己紹介で、趣味は読書、習い事はピアノと三線、「ちょっと気にしてるのは、身長の事で、1年生～6年生までずーと一番前」とあるのも微笑ましい。

「はじめに」では、自由研究のテーマを「私がなぜ憲法9条にしたか」という理由は、2つで、その一つは、6年生の修学旅行でひめゆり隊の話、集団自決など沖縄戦のことを知ったこと。米海兵隊員アレン・ネルソンさんの話や従軍慰安婦問題や強制連行など朝鮮人の怒りを知つ

日本国憲法第9条



て、「戦争のない平和な世界にする。それには憲法9条がとても必要だという所に行きつきました」。「2つ目は今、憲法を改訂しようという動きがあるという事です」と述べて、この一冊本を作る強い思いは「憲法9条の大切さをもっといろんな人に伝えたいという」ことだと書いています。その思いがインタビューにも文章にも溢れて、読む者的心に響いてきます。目次を見ただけでも、志貴さんの関心と探究心がどんどん広がり深くなっています。その行動力と吸収力に驚かされます。

小学生（当時）の山脇志貴さんが「いろんな人に伝えたい」と作った本。私たちに、「いろんな人」に九条を守る輪を広げていく初心を蘇らせてくれました。

（高岡岑郷 記）